

## バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は卒研生または卒業生

|      |   |
|------|---|
| 学会名  | 日本畜産学会第119会大会   |
| 演題名  | イメージング質量分析法によるウズラ卵黄中のホスファチルイノシトールの可視化   |
| 発表者  | ○ <u>榎元廣文</u> 、小林俊夫※、 <u>福井久恵</u> 、 <u>山根久和</u> 、財満信宏（※H25年度卒研生）（食品分析学研究室）  |
| 内容   | これまでに我々は、イメージング質量分析法によりウズラ卵黄中に最も多く含まれるリン脂質であるホスファチジルコリンが、黄色卵黄部において含有脂肪酸ごとに新規な層状構造を形成していることを発見した。本研究では、イメージング質量分析法を用いてウズラ卵黄中のリン脂質の一種であるホスファチジルイノシトールの可視化条件を検討した。その結果、9-アミノアクリジンを用いたネガティブイオンモードにおいて、ホスファチジルイノシトールを可視化することができた。これらの結果は、H25-26年度の卒業研究によって得られたものである。 |
| 関連画像 |  <p>実験に使用したイメージング質量分析計</p>   |